

殿橋・明代橋に関する基本事項 について

第5回 岡崎活性化本部リバーフロント部会
平成25年12月18日(水)

目 次

- 1 殿 橋の基本事項について
- 2 明代橋の基本事項について
- 3 近代土木遺産について

1 殿橋の基本事項について

- (1) 竣工時期 昭和2年7月(現在86歳)
- (2) 橋 長 112.7 m
- (3) スパン数 12 スパン
- (4) 構 造 鉄筋コンクリート構造
- (5) 近代土木遺産に指定



2

2 明代橋の基本事項について

- (1) 竣工時期 昭和12年7月(現在76歳)
- (2) 橋 長 114.1m
- (3) スパン数 7 スパン
- (4) 構 造 鉄筋コンクリート構造



3

3 近代土木遺産について(1/3)

近代土木遺産とは

- 公益社団法人土木学会が、日本国内の歴史的建造物のうち土木構造物について、それらの保存に資することを目的として「土木遺産」に認定して顕彰する制度。これにより顕彰された土木構造物群のことをいう。
- 2000年より認定を開始



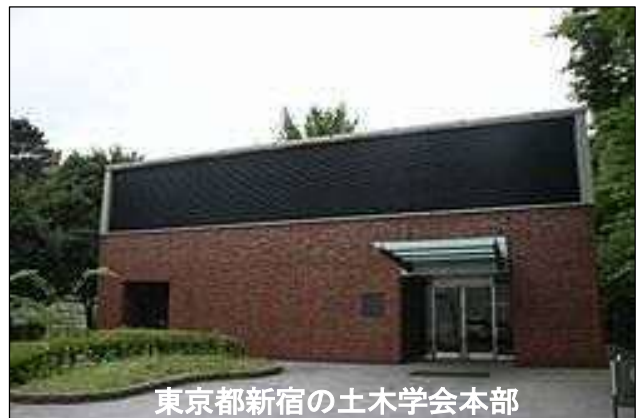
六供浄水場のポンプ場・配水塔

4

3 近代土木遺産について(2/3)

公益社団法人土木学会とは

- 土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の資質向上を図り、学術文化の進展と社会の発展に寄与することを目的とする
- 1879年創立
- 本部は東京
- 国内に9支部
- 海外の25学協会と協力協定を締結している



東京都新宿の土木学会本部

5

3 近代土木遺産について(3/3)

殿橋の評価について

- Bランク

※A～Cの3ランクある

Bランクは都道府県指定の文化財相当

- 「多柱式橋脚の典型的な例＝列柱の織り成す美」というコメントが掲載

- 参考書籍

日本の近代土木遺産

-現在する重要な土木構造物2800選-

